

2021年7月11日（日）令和3年度神奈川県立高等学校PTA連合会研修大会
パネルディスカッション『これからのPTA～これまでの活動を通して考える新しいかたち～』
パネリスト：現役PTA会長2名、校長、PTA経験者、高P連会長

パネリスト紹介～コロナ過でのPTA活動紹介

（司会） お時間になりましたのでこれよりパネルディスカッションを始めます。司会を務めます、神奈川県立高等学校PTA連合会副会長の廣間亜紀と申します。慣れないことで今かなり緊張しておりますとお聞き苦しい部分があるかと思いますが精一杯努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今回のパネルディスカッションでは、昨年来からPTA活動が思うようにできないという期間が続いており、改めてPTAの存在意義やその役割について考えたいと思います。「これからのPTA～これまでの活動を通して考える新しい形～」というテーマで、登壇された5名のパネリストの皆さんにお話を伺って参りたいと思います。

待機画面にもありますが、現役会長のリアルなお話を伺います。是非会長の皆さんには、ありのままのお話をしていただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは始めに本日ご登壇いただいておりますパネリストの皆様をご紹介します。画面向かって右手より神奈川県立上鶴間高等学校校長小林芳明先生よりよろしくお願いいたします。

（小林） こんにちは、小林です。どうぞよろしくお願い致します。

（司会） 続いてPTA経験者として、神奈川県立高等学校PTA連合会前会長、中野真衣子様

（中野） 中野です。よろしくお願い致します。

（司会） 真ん中、会長経験今年度2年目となります、神奈川県立相模原弥栄高等学校PTA会長、田代秀之様

（田代） 田代です。よろしくお願い致します。

（司会） 会長経験は3年目となります、神奈川県立白山高等学校PTA会長、寺崎美紀様。

（寺崎） 寺崎でございます。本日はよろしくお願い致します。

（司会） 最後となります、当連合会会長、米山賢でございます。

（米山） 米山です。よろしくお願い致します。

（司会） 以上5名のパネリストの皆様にご挨拶を伺ってきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

まず始めに各校の活動状況、普段の活動についてご紹介をいただきたいと思っております。まず寺崎会長からよろしいでしょうか。

（寺崎） まず私がおります白山高校のPTAの組織を紹介させていただきたいと思っております。私、会長がいます本部を中心に、学年、広報、成人、環境交通の四つの委員会で構成されております。

ごく一般的な組織でございます。そしてPTAの活動としましては、全委員に共通しまして、まず文化祭への参加です。白山高校では楓祭と呼んでおりますが、バザーや喫茶運営、白山高校名物のどら焼き「はくちゃん」の販売、お菓子の販売、広報委員による全体の撮影、交通安全

全の啓発コーナーなどを設けております。それ以外の活動として、主には学年委員会の地域貢献活動、3年生になりますと卒業準備も兼任していただき、卒業式に生徒につけていただくコースジュ選び、卒業記念品を準備しております。広報委員会では広報紙発行、成人委員は地域貢献活動や陶芸教室も開いたりしております。白山高校は普通科なのですが、隣の弥栄さんと同様、長い間美術の教育に力を入れてきまして、平成29年度に美術科に確立されたほどでございます。その影響で学校に穴窯を所有する珍しい学校でございます。

その穴窯をPTAにも開放していただきまして、希望者には保護者の方にも体験していただくことをやっております。といったところが大まかな活動です。

(司会) すごいですね、穴窯があるのは面白いですね。私も体験したいとすごく思いました。

ありがとうございます。では相模原弥栄高校の田代会長はいかがでしょう。

(田代) 相模原弥栄高校の紹介をさせていただきます。昨年合併という形で相模原弥栄高等学校として再スタートした高校でございます。普通科以外に今、白山高校さんにもありましたような美術科、音楽科、スポーツ科という県立高校の中では珍しい専攻科が複数あることが特徴になっています。PTAは弥栄高校から続いている形になるのですが、本部を中心に、四つの委員会が組織されていまして、交流推進委員会、広報委員会、環境整備委員会、交通安全推進委員会がそれぞれの部門ごとに活動しています。

広報委員会さんはもちろん広報紙の発行が中心になりますし、環境整備委員会さんは学校のプランターですとか、花壇の整備などに取り組んでいただいておりますが、その中でも特に特徴的なのが、ここ3年になります。交通安全推進委員会さんの方で、長年敷地内にある放置自転車の問題を解決しようということから、卒業生の方々の自転車をリサイクルし新入生の方にお分けするような取り組みを行ってございまして、これは県内では初めてと聞いています。

また、どこの学校も同じだと思いますが、ブロックごとに他の高校さんとの交流会があると思いますが、相模原ブロック14校の中で毎年行われる発表会の中で、他校さんの実践をお聞きし、PTAの本部と生徒会の方との意見交換をするようなそういった場をいいことだということで昨年からは始めるなど、というのが最近の特徴的なところかなと思っています。

(司会) ありがとうございます。自転車リサイクルの取り組みってというのが、今のSDGsっていうのに繋がって、凄く魅力的な取り組みだと思っています。どこかで紹介されているところがあるかと思うので、またそういうところが発信できる場所があるといいですね。

今お二人のお話を伺いましたけれども、小林先生の所属されている上鶴間高校、私は以前相模原に所属しておりましたので、とてもPTAの組織が珍しいなと思って聞いたことがあるのですが、上鶴間高校について紹介をいただいてもよろしいでしょうか。

(小林) はい、それでは上鶴間高校のお話をさせていただきます。まず本校は16委員会、一般でいうと広報委員会、学年委員会さんから始まりますが、とん汁委員会や制服リサイクル委員会など、全部で16の委員会があります。そしてPTAの皆様は一人1委員会制ということで、1年間に1回でもいいから学校の何かしら委員会に参加して、一回でもいいので来られるようにということで、広く浅く負担を軽減するという趣旨で16委員会っていう取り組みをやっております。

また、本日私がお招きいただいたのは、後ほどご紹介が改めてあると思いますが、昨年度本校は理事校をやっております、という関係で私は今日呼ばれたのかなと思っています。

上鶴間高校は今年度、インクルーシブ教育と ICT 利活用推進校ということで二つのミッションを持っている学校でございます。そういった意味ではほかの皆さんとちょっと違った PTA 活動も含めてご協力を多数いただいているところでございます。

(司会) 友人にお子さんが上鶴間高校に進まれたっていう方が結構いらっしゃるのですが、学校に入る前は何か絶対委員会入らなきゃいけない、みたいな話で入るのですが、でもいざ行ってみると、とん汁やりたかったけど入れなかったとか、なにかしらに所属できて学校に関わることができてよかったっていうお話を聞いたことがあるので、おもしろい取り組みだなと思いました。

田代さんから他校さんが発表していたのを聞いて自校にも取り入れたという話がありましたが、地区とのつながりというところは、どのような感じでもたれているのかというのはありますか。地区の他の会長さん同士でどういった形でつながっているのかというところを教えてくださいたいのですが。

(田代) 相模原ブロックは今 14 校で構成をされておりますが、私の前の会長さんが取りまとめて会長さんだけの LINE というのがありまして、そこで情報交換が頻回にされているというのがひとつあります。

具体的には、活動されていない方はわからないかもしれないのですが、ブロックごとに何回か集まり会議があったり、そのブロックを単位にした研修会があったりというような、基本はその中での付き合いなのですが、最近はその LINE を使ってちょっと疑問が湧いたり学校の中でなんかどうだろうと思ったことを、他の学校さんはどうですかみたいなことを情報交換するような機会というのを持っているというのが相模原です。

(司会) 気楽に聞いたり、教えてもらったりすることができる関係が築けていると。

(田代) 私自身がそのリアルなその会議に去年は一回も参加ができてなくて大変申し訳なかったのですが、それでも聞けたということです。

(司会) 横浜北地区、寺崎さんのところはどうですか。

(寺崎) 白山高校の横浜北地区は 17 校所属しております。その時の幹事校の方の計らいで、去年と同じように LINE を交換していただいて、グループ LINE を作って頂いて情報共有をし合っているっていう感じですかね。

去年はなかなかお会いできなくて、会長会議を主催していただいたのがおそらく 2, 3 回ぐらいありましたが、そこに参加できずということがある中で、その LINE で色々共有できたおかげでいろんな情報を仕入れて自校の PTA 活動に役立てたことがすごくたくさんあります。

(司会) 会長さんになると悩むこと、考えることはたくさんあるので自分一人で抱えきれないことを他の会長さんと共有できるのはすごくいいですね。

(寺崎) すごく多大にあったと思います。

(司会) お二人の会長さんのお話を聞いて高 P 連としてはいかがでしょう。

(米山) いくつか高 P 連としても活動しておりまして、例えば生涯学習機会の提供ということで、本日のような研修大会、あるいは健全育成活動に関わる講演会、そういったものを個々の学校ではなかなか大変だという所に対して、少しこちらで機会を提供させていただいているというような活動を行っております。

それから今お話がありましたように地区協議会を通じてということで、我々連合会のところ

から地区協議会を通じて学校 PTA の活動の推進にご協力したり、支援をさせていただいたりというような活動を行っております。

それから広く社会情勢、特に教育に関わる社会情勢でありますとか、会員ニーズの把握ということでアンケート調査をさせていただいたり、得た情報をホームページであったり、会報誌であったり、という形で各校にお伝えするといったこともさせて頂いております。

(司会) 高P連としては各校から集まった情報を会員の皆様に発信するというのが活動の主な部分になりますね。

(米山) やはり会員の思い、会員の皆さまの困っていること、そういったことに気づいてそれに寄り添えるということが大事だと思っております。

(司会) 一方で学校としてはPTAとの関わりをどのような感じで、例えばPTA担当の先生と役員であったりとか、一般の会員さんへの情報発信であったり、学校とPTAとの関わりというところを教えてくださいたいのですが、小林先生いかがでしょうか。

(小林) 学校としてはまずPTAのみなさまに、いろいろな形でご協力を頂いているところが正直あります。昨日も環境委員さんが花壇整備等々をやっていただいている、学校だけでは整備できない部分、手が回らない部分について、すごく応援をいただいているということがとっても大きなところだと思っています。

また、一人1委員会制というところもあって、年に一回でもいいので学校に来ていただくことで学校の空気を感じていただいて、そして皆さんの自分のお子さんの学校生活を感じとっていただく、あるいは部活動もそうですけれども、他の子ども達の活動や生活を見知っていただいているのも一つ効果があるのかなというところと、私が見ているととても感じているのは、保護者の方同士の新しい出会いの場というか、新しい情報をそれぞれのご家庭があるとは思いますが、それぞれの情報をお互いに情報交換して、そして自分のお子さんにフィードバックしてみたり、お友達のお子さんとのやり取りになったりとか、そういう意味では新しいつながりというのが広がっているところがあって、それがまた学校に帰ってくる。

活動の中で学校にこうしてもらえないのだろうか、学校は何を考えているのだ、そこは直接のやり取り、会話があるというところが、やはり学校とPTAの皆様とのつながりというのは、そこに新たに生まれてきているのではないかと、そして学校が毎日毎日日々の教育活動を進めていく中で、二人三脚って言うのでしょうか、ご協力いただいているのは日々感じています。

(司会) 私自身会長を経験した時には、自分の子どもが通っている学校を、PTAの皆様とか役員になってない方にも大好きになって欲しいという思いがありまして、それを伝えるようになるべくしていたのですが、なかなかPTAの中でしか伝わらない、役員の中でしか伝わらないという部分があって、かなり苦労はしていたのですが、自分自身はもっと学校、自分のお子さんの学校を好きになってもらいたい、楽しんでもらいたいというモットーで会長職を務めていました。

現役の会長のお二人に伺いますが、何かしらPTA活動をするにあたって、何かこうモットーみたいなものがあつたりするのでしょうか、寺崎さんからお願いします。

(寺崎) そうですね、おっしゃっていただいて、モットーというほどすごく偉そうなものではないですけれども、私の中で勝手に付けているキャッチコピーがありまして、「出しゃばらない、抱え込まない、やりすぎない、怖くなったら逃げて帰ってくる。」というのを今高校3年生の次男

で PTA 会長をさせていただいているのですが、この子が小学校 2 年生の時から色々な所で PTA 会長みたいなことをやらせて頂いて、そのなんか掛け声みたいな、古いのですが言ってきた言葉がありまして、これを打ち合わせの時に出したら最後の「怖くなったら逃げて帰ってくる」はちょっと除いてみたいなことでダメ出しをされましたが、ふざけているような雰囲気なののですが、ちょっと私には意味があって、お仕事でしたら報酬はお金です。やればやっただけ褒められるし、偉いことなのですがボランティアですよ、PTA 活動っていうのは所詮。お金は発生しません、報酬はやりがいとか人との出会いとか、確かそういうことなのではないかなと思った時に、やらないのも困るけれどもやりすぎるのも邪魔になる、あの人の成果は見すぎるとやっぱりイライラするっていうところと言うと、やっぱり一番は人間関係をどれだけ潤沢にするかとか、いうことが大事なひとつなのではないかという、そこまでの深い意味は考えてなかったのですが、一番初めに言った時に、でしゃばるなよと、抱え込まないでね、例えば全部荷物持って大丈夫、大丈夫って言っている人よりも、「ちょっとごめん、無理かも、半分持って」って言われると、なんか先ほどの小林さやかさんの講演にもあったようなピグマリオン効果、早速勉強させて使わせて頂いていますけれども、期待を込められると嬉しくなると言うか、なんかちょっとこっちから抜いて人を頼ってもいいのではないかって、あっても抱え込まないとかやりすぎないというのをキャッチフレーズとしてやっていますが、浸透しているかちょっとわからないですが、一応こういう感じでやらせて頂いています。

(司会) 「できることを、できる人が、できるだけ」というようなことは、色々な所で聞きますが、すごく新しい視点を聞いたような気がして、PTA に対して肩の荷が下りるような感じを受けました。ありがとうございます。田代会長は何かありますか。

(田代) 今おっしゃっていただいたことと同じかもしれませんが、私自身も自分に言い聞かせて、「せっかくなら楽しく」というのがベースにあります。

役員を引き受けるなど PTA に参加するきっかけはその個人によって違うかと思うのですが、あるいは動機というのはそれぞれ違うかと思うのですが、やりすぎないとか、言い方を変えると負担を感じて使命感でやるものでもないのではないのかな、というのが自分自身に言い聞かせているものです。

ですから自分も含め PTA に参加される方々がまあ最終的には皆さんやってよかったって言っていただけるようにしてもらうためには、やっぱり楽しんで頂くことが必要なって言うことからすると、強制的にするものではないだろうなっていう風に思っています。

やりたいと思ったことがやれるような風にこうしてあげたいというにも思いますし、後は先ほど小林さやかさんのお話を私も聞いていて、自己肯定感ですかね、それも一つは自分自身の自己肯定感を育む場になっているのかなというのもあるのですよね。

私の前任の会長さんは女性の会長さんで、その方がキャリアウーマンだったのですが、その方が仕事をして疲れたあと学校来た時にすごく居心地がいいっていう話をよくしていたのを今聴いていて思い出していて、やっぱりそういう場に来られる方は主体性があって、自分のやれることを自ら手を上げて引き受けてくださったり、あるいはそういう能力のある方をすごいねと褒めてあげたりっていうのが自然にできている空間というのが、PTA の活動の中にはすごくあって、逆に言えば職場にあんまりないっていうのがあるのかなとも思うのですが、すごく居心地がいいっていう風に思えるのも PTA のひとつの意義なのかなと個人的には思っ

ていて、最初に戻りますが何よりも皆が楽しくやれるような環境を作るというのが必要なと思います。

(司会) 楽しんでやってらっしゃるのだらうなというのはすごく伝わってきました。

ここまでのお話を伺って、長く PTA をご経験されてきた中野さん、何か思うところがあればよろしくお願ひいたします。

(中野) 皆さんも冷静に目的と楽しさと、凄くよく理解されていたというか、ちょっと長くやっていますのでその視点からはすごく感じました。

私も PTA は子どもの成長を応援する想いを持った人たちの集まりだと思っています。

子どもがいなかったら出会わなかった、そういう様々な職業環境の人たちと繋がれる、そしてそこから学びがあったり、共感しあえたり、自分も成長できて楽しめて、かけがえのない仲間ができます。それが本当に PTA のよさだと実感してきましたので皆さんと同じかなと思っています。この体験や出会いは財産だと思っていますので、いいお話を聞けてここまででまず素晴らしいなと思っています。

(司会) 先ほど高 P 連の紹介を米山さんの方からしていただいたのですが、中野さんは全国高等学校 PTA 連合会の方にも顔を出してらっしゃると伺っています。全国 PTA 連合会での活動を少しご紹介いただければと思うのですが。

(中野) これまでの話と変わってしまいますが、全国高 P 連という組織がございまして、そちらのご紹介をさせていただきます。会員は都道府県市 50 連合会です。その中に加盟校が 3913 校、会員が約 200 万人います。関東や九州、東北など 9 地区に分かれております。昨年度、9 地区の大会がありましたが、ほぼ昨年度は中止になりました。

東京や大阪でいつも集まりまして、総会ですとか理事会、委員会などをやっておりましたが令和 2 年度はやはり集まるのが無理でしたので、ほとんど ZOOM を使って行っておりました。

年数回文科省からのヒアリングに答申しましたり、中教審議会の意見を提出したり、そういう事を全国高 P 連ではしております。

健全育成活動として継続してきたものが主に二つありまして、薬物乱用防止パンフレットを保護者向けに編集して作成しております。皆様の学校にも届けております。あとネットリテラシーの向上のための取り組みとして総務省が行なっている ILAS という青少年のインターネット利用理解度テストというのを各地区の学校でご協力いただいております。それから調査広報委員会が各学校へ会長の方へ令和 2 年度の学校行事や PTA 活動に関するアンケートを実施しました。3913 校ございまして 2249 名の会長さんにご回答頂き、結果の方は全国高 P 連のホームページ、あと会報の方に掲載しております。5 月にはコロナ禍における教育活動、PTA 活動対応事例を全国から集めまして、皆様にご参考にしていただければと、やはりホームページに公開しております。

全く集まることは全国高 P 連ではできませんでしたが、LINE や ZOOM を使ってやりにくいながらも何とか情報提供などができるように活動してまいりました。

(司会) ありがとうございます。今ご紹介いただいたように全国高 P 連の方でアンケートをされたということで、今の画面の方もコロナ禍での活動紹介というのに変わっていますが、昨年のそのアンケートの内容について、ここで米山会長からご紹介いただきたいと思います。

(米山) 先程お話ありました、全国高P連が令和2年度にPTA活動や学校の様子ということ年全国の会長さんを対象にアンケートしました。先ほどありましたように2249件のうち、神奈川の回答94件、こちらを抽出したものでございます。神奈川県は全体の2/3にあたる94名の会長さんによるものでございます。ここに出てくるグラフの見方ですが、赤系にしているものは色々な活動が中止になったなど、何かできなかったということを表しております。反対に青系の色は何かしら形を工夫してできたというもの、黄色系の色は何かしら違う方法を用いて実施したというもの、緑系は青と黄色など、代替手段の併用といったような感じです。

グラフの上の部分ピンクの矢印が出てまいります、これも私の主観で、これでできたかできなかったかとの境界線と考えるとところになります。

まず初めにバスツアーなどの研修旅行や講演会といわれるものについてです。これを二つとも見ますと明らかに中止となったケースが多かったというところが伺えると思います。こういった活動は密の状態が生じやすい、加えてやはりツアーの予約ですとか、講師の依頼は早い段階で意思決定をして段取りをしなければいけないことで、学校がまだ休校の段階であった令和2年度前半の方ではコロナ禍でやっぱりやるというところの決断にはなかなか至らず中止という判断につながった傾向があると思われまます。

次に私の主観では半分ぐらいできたかなと思える活動です。PTA総会、上のグラフですね。

大半は書面開催という形を取られたようですが、その総会の目的である議案承認という面では、目的は果たせたのではないかと、一方で会員とのコミュニケーション機会という点では、やはり書面開催にはなかなか至らない部分もあることで、達成感半ばかなというような声も聞かれましたので真ん中に矢印を置いております。

学校行事へのPTAへの参加、これは行事自体が中止、縮小になったようなケースもあります。それから行事は開催されたがPTAの参加が中止、縮小になったケースも存在しております。でも縮小したとはいえども参加できたり、生徒の様子を伺えたり、その協力できたという所では半分ぐらい縮小されても実施できたのかなというところでございます。

全国高P連 令和2年度 PTA活動アンケート

(全国の回答2,249件中、神奈川の回答94件を抽出)

バスツアーなどの研修旅行について



研修会（講演会）について



全国高P連 令和2年度 PTA活動アンケート

(全国の回答2,249件中、神奈川の回答94件を抽出)

PTA総会について



学校行事へPTAとして参加（お手伝い）について



最後に回数や頻度に違いがあれ、ほとんど実施できたかなと思われる活動です。役員会、運営委員会です。これは回数を減らして開催したというところが多く、一部ではリモート会議などを導入されていたようです。会議では通常役員会や運営委員会、そういったものは行事の準備だったり、確認だったりという議題が多いと思いますが、現場の声を聴くとそもそも活動をどうするか、ということで話し合われる機会が多かったという話を伺っております。

それから凄いと思ったのが、広報紙で

発行回数やページ数の減っているのはありますが、発行を中止としたところはこの回答からはありませんでした。保護者が逆に学校に行けない状況であることから、生徒の様子をなんとか広報紙を通じて保護者に伝えたいというのが活動の大きな原動力になっていたようですし、それどころかびっくりする事に発行回数やページ数を増やしてより充実させて様子を伝えようという活動をされていたところも複数回答があったということです。アンケートについては以上です。

(司会) 今のアンケートを受けまして、会長さんをお二人お招きしていますので、実際の学校でのPTA活動がどうだったのかという話を伺っていきたいのですが、寺崎会長、白山高校ではどんな活動を昨年はされていたのでしょうか。

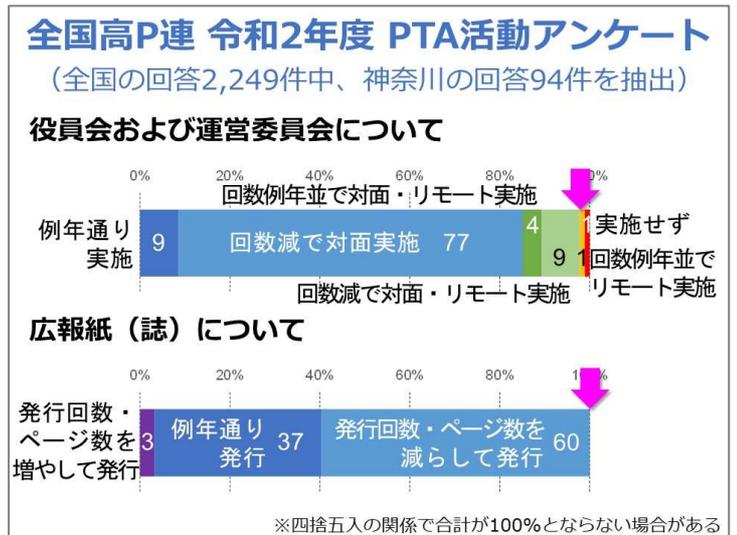
(寺崎) 先ほど紹介しました活動は、説明も要らないですけども、コロナ前の通常の健康な状態での活動です。それが昨年度のコロナ禍で一転、もろに影響を受けました。

先ほどの活動のところで、環境交通さんの植栽をご紹介するのを忘れてしまったので、帰ったら怒られるから付け足したいのですけれども、そういう意味でいうと去年のコロナ禍の活動ですが、本当に必要最低限のことはさせて頂いたという感じで、それが校内の植栽、広報紙発行、これは細々とでもやろうということで、先ほどのアンケートから言うとページ数を減らして縮小傾向で何とか頑張っていましたというところですが、文化祭は一般参加はなしで生徒だけでしたので、PTAの参加はなしでしたね。

後はその役員会、実行委員っていうのが毎月1回ずつ多分されていると思いますが、うちの場合で言いますとトータル2回でそれ以上は開催できませんでした。

去年度は何が何だかさっぱりわからない状態でしたので、用事がない時は集まるのをやめようということで最低限監査が絡む時とか、来ないとまずいよねという時と、ちょっと収まった9月、10月ぐらいに一回やったということで、ほとんど顔を合わせる事がなかったです。

そういう意味では本当に迷い迷い、あと体育祭での給水活動っていうのをうちの学校ではしているのですが、その前までは大きいポットにお茶を作ってコップでお母さん達が手渡しで熱中症防止としてお渡ししていたのですが、さすがにそれはということで、コロナ対策としてペットボトル2本限定で生徒に渡していくというのを必要最低限の人数でやらせていただいたという程度にとどまってしまいました。



(司会) とにかく感染防止対策というのが第一という感じでしたよね。相模原弥栄高校はいかがでしたか。

(田代) コロナの感染を防止するっていう意味では、活動がやっぱり減少したのは事実だと思います。ただ白山高校さんと比べてまだ集まる頻度という意味でいくと、私たちの学校で昨年の場合ですと4月5月6月と1月だけは集まることはできなかったのですが、それ以外は基本的に予定していた役員会ですとか運営委員会は学校に集まって、換気に気を付け、時短を意識し、みたいな形で取り組んできたというのがあります。

並行して各委員会さんも基本的にはLINEですとか、オンラインを通じてやりとりをする場面もあったようですし、場合によっては学校に集まれる機会を取られながら、それぞれの活動を必要最低限と言ったらあれなのかもしれないですが取り組まれたという状況です。

とはいえ強いて一番活動が難しかったのが交流推進委員会さんが、会員の皆さんの交流を目的にする委員会なのでどうしてもそれはできないというのがあって、ただ、去年の9月10月の時期に、委員長さんから皆さんを集めてやることはできないのですが、今日は先ほどお配りしたバスツアー、研修を試行的にそのコロナ禍の中でどういう工夫が必要なのかっていうことを検証するために、会員さんを集めないで委員会だけでもやらせてもらえないかというような打診があり、委員会さんの中でもいろいろご意見はあったようですが、合意をされた方々で試行的な研修っていうのをされていて、その結果報告みたいなものを頂いたというのがあります。

先ほど触れたように、やりたいって言うてくださったことをできれば拒むのではなく、どうしたらできるかっていうことを考えてあげたいというのが私のスタンスでもあって、学校の先生とも相談しながらそういった実践をしていただいたというのがあります。

私も学校紹介で一つ忘れてしまって、本校は学園祭にPTAとしてブースを出しているのですが、学園祭自体が去年は生徒のみっていうことになったので参加ができなかったことがあります。今年は今後要検討ですが、あと体育祭、ドリンクの配給をしていたのですが去年は体育祭自体が中止で無く、今年は体育祭が行われるのですが、学校の方で対応するというところでPTAとしてはペットボトルだけを用意して、お配りは学校の先生方をお願いをしたなんていうような形になっている。どうしてもコロナの前にやってきたことがその通りできるって訳ではない状況ですね。

(司会) 試作的に行ったバスツアーというのもありましたけど、それが次につながっていつかきちんとした形でできるのを本当に待つばかりという感じですね。

学校のPTAの活動について伺ってきたんですけども学校現場っていうのは昨年どういった状況だったのか小林先生教えて頂いてよろしいですか。

(小林) ご承知の通り、一斉休校によって4月5月は完全にアウトでしたね。6月から分散登校が始まって学校での教育活動が再開されてきた、徐々に再開されるというところだと思います。

自慢じゃないですけど、うちはICT利活用推進校ということだったので、オンラインでの課題配信を4月早々に始まりました。新入生は入学式が終わっていなかった、実は入学式が出来なかった学校が、違っていたらごめんなさい確か5校だったと思いますが、うちの学校は6月2日に延期になったのですが、そこまでできなかった。

そのためIDが渡せないでオンラインでのやり取りが1年生はできなかった。ただその前

に集めていいよってことになったので ID を渡してそこで初めて一年生はオンライン配信ができるようになった。

他の県立高校さんもなかなか難しくて郵送で課題を各家庭に配付して回収するって形をしていましたが、うちは教職員にもユーチューバーになってくださいということで、今日は YouTube 配信ですけれども、Google Meet を使って、もう 4 月中にはオンラインの授業を全員ではないですがやり始めていて、5 月中には特に 3 年生はオンラインで個人面談、なるべくコロナ禍だけれども子ども達の希望を聞くチャンスというのをやりましょうということでやらせていただきました。

それで PTA 総会を、こう言うてはあれですが、やっていただかないと予算が組めない、予算が成立しないと学校が動かないというところをございましたので書面総会をやっていただきましたが、それを ZOOM で書面総会でありながらそれを配信して結果報告するという形の取り組みをずっとやってまいりました。

また、相模原地区では理事会を 8 月にやりましたが、その時に各校の PTA 会長さんの話を聞くと何もできてない、今年は活動ができない、とつてもつまらない、という情報交換がすごく多数行われましたので、じゃあ秋の地区大会はどうしましょう、昨年度の表彰のこともありますし、各学校の取組がありますし、ということであれば理事校である上鶴間高校、お金もかけず自分たちでということで相模原地区も皆さんユーチューバーになって頂きましょうってことで、オンライン配信をこういった会場で発表して、それを自分たちのカメラを持ち込んで配信し地区大会をやったというのが昨年度の相模原地区ということになります。

会場と学校をオンラインで結んで会場で出た質問をオンライン先の弥栄高校さんだっと思いますが、学校の方から返事が返ってくる。会場で学校の返事をカメラで写し、そしてお互いがそこにいるような形で、こういう新しいオンラインって使い方があるということも PTA の皆様にも知っていただく機会にもなったかな、上鶴間高校としてのミッションもそこでひとつできたかな、教員もユーチューバーになれますけど保護者の皆様もユーチューバーになれるのではないかな、そういうところは昨年のコロナ禍でも学校と PTA 活動のひとつの運営の方法だったかな、そういうところをございます。こんな感じでよろしいでしょうか。

(司会) ありがとうございます。昨年地区大会ですが、開催までには他の地区がほとんど中止になる中で相模原地区は開催しますと、まずそこで驚きでしたが、私は役員として ZOOM の方で視聴をさせていただきまして、相模原弥栄高校の発表の中で今ここに現役の会長さんがいらっしゃいますが、拝見しておりまして会場から直接学校で役員さんがみんな集まって楽しそうにしているのが映って、すごくこう一体感が、画面上ではありましたが、できたのが良かったと思っています。実際発表校として田代さんはいかがでしたか。

(田代) 県下で開催したのが相模原ともうひとつと聞いたのですが、正直ですね 4 月 5 月の時に今年発表の当番だったということはもちろん承知はしていましたが、無いといいなというのが私の個人的な感想でしたね。

無いといいなっていうのは語弊がありまして、日がずれたらいいな、あるいは持ち越しにならないかなっていう意味ですが、その予定していた日がどうしても私自身がすでに予定が入っていて、当日も行けないっていうのがわかっていたものですから、そういう意味で日が変わらないかなと思ってたというのが内心ありました。

今初めて小林先生からそのどうしても開催するっていう熱い思いがあったの实践だったと初めて聞きましたが、確か7月8月の時にオンラインでやりますという風になったと思います。とはいえその6月の時点でもしあったときに慌てちゃうといけないっていうことで6月の時点から用意はしていました。

それは今まで通り会場で人を集めて発表するパターンを想定し、前年の発表を拝見すると演壇に各委員会さんですとか、委員長さんですとか何人も上がられて、お一人が一方的に喋るとよりも皆さんがこう順番にやられている発表の姿を見て、それがいいなと思いそういう内容を想定していましたが、まさかのオンラインで密を避けるために発表者は2名3名ですかね、というところから、じゃあその代替をということで、ビデオで各委員さんに出演していただくという風に思ったところまでは私の仕事で、あとはそれを編集される方、広報の委員長さんが自ら買って出ていただき、それを皆さん各委員会さんも2分以内に発表をまとめてくださいなんて言ったら皆さんがきっとおもしろおかしくやって下さったのではないかと考えていますが、皆さんが協力してくださり発表することができました。

私は当日会場に行くことはできなかったの副会長の二人には本当にご迷惑かけてしまいましたが、結果としてあのことができたから去年皆さんがひとつになれたと言うか、なにか皆なでひとつの事が出来たっていうような実績を積ませていただくことができたという風にも思っているの、結果からいうと去年発表させていただいて良かったなというのが率直な気持ちです。

(司会) とても正直な話を伺えて、ビデオレターの中で田代会長も少し登場していて、すごく良かったですよ。

相模原大会がオンラインになりましたけども、去年は高P連の方も県大会をオンライン開催という形を取らせて頂きました。昨年のコロナ禍での高P連の活動を米山さんから紹介したいと思います。

(米山) 目的に沿った活動をとにかく止めないということをおきしました。今ご紹介あったように県大会、こちらをオンライン配信するというので、もうその状況が近くなってきてから判断していたのでは間に合わない、絶対やるというところで早い段階から、オンライン開催をするということを決断しました。

その決断にあたっては、先ほど小林先生からのご紹介にありましたように、相模原地区の方でやるというところは大変参考にさせていただきましたし、心強いアドバイスをいただけるなど、大きな決断に繋がりました。

それから健全育成、それまで分科会と言っていた健全育成委員会が行っている活動、こちらでも講演会をオンライン配信で行いました。これまでは集まっていたという前提で、横浜とか、そういったところまでおいでいただくというのが前提でしたが、日曜日のちょっとした時間にオンラインで講演が聞けるというところで大変ご好評をいただきました。

そういった健全育成に関わるオンライン講演会も行いました。

それから県大会のアンケートの回答で、配信するような講演会とかはあるが、先ほどもありましたように地区内あるいは地区を超えた会長さん同士のコミュニケーションの機会がとにかく無いということで、そういった機会を何とか設けてもらえないか、というような回答がありました。そこで各校PTA会長さんに参加していただいた、オンラインでの情報交換会を3

回ほど企画、実施いたしました。それから継続的に情報提供ができるようにホームページをリニューアルして、よりタイムリーに状況に合った情報をお届け出来るように改良をしております。

(司会) オンライン中心の活動になった一年でしたが、今画面に出ておりますように昨年度2月と3月に会長がおっしゃったように県大会のアンケートの結果を受けましてオンラインでの情報交換会を開催させて頂きました。そこで出た活動の工夫などを少し紹介させていただければと思います。

コロナ禍での活動をどうしているかという話はもちろんですが、そんな中でもうちはこんな工夫をして開催できたものがありますというところで先ほど意見にもあったバスツアーです。

これも新しい形、「オンラインツアー」というものを利用してみましたよ。参加者は何かお土産が事前にお家に届いて、それを食べながらオンラインツアーに参加してすごく楽しかったですという意見ですとか、とん汁の提供ができないので感染対策をしながらしました、みたいなことですか、オンラインを活用するということがやはり多かったのですけれど、ちょうど卒業式前の時期でしたので卒業式に来賓参加ができない状況で何か工夫されていることはありますか、っていう質問があり、ある学校が役員の方で卒業生に向けてのメッセージボードを作成していますっていう意見があり、これを参加していた方が真似してやってみてすごく好評でしたというような意見も頂いています。

参加された方の感想ですが、色んな意見が聞けてとっても良かったです。他のミーティングの内容も合わせて情報開示して頂けるとありがたいです。とか、初めての情報交換会でしたが顔が見えるというのは質問もしやすく、疑問についても何度かやりとりができるので良かったです。とか、みなさまのアドバイスが聞けて今後の活動や学校側とのコミュニケーションに少し自信が持てました。ZOOM が初めてで緊張しましたが参加させていただき本当に良かったです。というような意見を頂いています。

ここで情報交換ができたことで次の活動につながったなということが得られたので、私たちも主催する側として本当にやって良かったなという想いでいます。今年度もこういった状況にありますので、引き続きこのような形での情報交換ができたらいいなという風に計画はしております。

もっといろんな意見が出ておまして、こちらの内容については、高P連のホームページに掲載されていますので、是非ご参考までにご覧になっていただけたらと思います。

これからのPTA

(司会) コロナ禍での大変な時期を経て、本当に必要なもの、PTAとして本当に必要な物というのを見直す時期でもあったのかなとは思いますが、これからのPTAということで、今後の課題とか次の方につなげていく何かというものを、新しい形というところも合わせて、まずは会長さんから教えていただければと思います。寺崎さんよろしくお願ひします。

(寺崎) これからのPTAって一言で言うと難しいですね。突然昨年度からガラッと風変わりして、PTAだけじゃなくて全部様変わりしたっていうのが正直なところで、この様変わりとはたぶんここ1、2年では答えが出ないっていうのが、私はちょっと今考えていたのですが、また私

の感想ですね。

ただこうやってなかなか人と会えないコロナ感染対策っていうのが、スタートで結局こういうオンラインで配信と色々研修会ができるっていうのはこれがいいきっかけだったのではないかと思います。それと同時に本当に今までちょっと言葉じゃ悪いかもしれませんが、これは邪魔なイベントだった、いらなかったなっていうのを堂々と削除したりとか、結構辞めるって勇気があることだけれども、プラスな言い方をするとコロナがあったおかげでなくなってなんか意外とせいせいしたねっていうこともあったりとか、だけど色々リモートとか、ちょっと話はずれますがパネリストの打ち合わせも2回ほど皆さんとZOOMでやらせて頂いて、今日初対面なのですが、お会いしていただきたい皆さんの印象、顔が違うなっていうのが正直な感想です。まあ便利ですが、何が言いたいかって言うと結局こんなにデジタル化に触れているのですが、やっぱり人ってアナログを求めるものはどっかにあるのではないかと思った時に、まあそことアナログとデジタルの… そうですね、うまく付き合いながら遠慮なくいらぬものは捨てていく、とっておくものは大事にしていくということを考えていくいい期間なんじゃないかなって、ちょっとごめんなさいなんか具体的じゃなくて、あのざっくりした感じで、まあそれ言葉下手ですけども答えは出てないっていうのがあれですかね。

(司会) 続きますからね。

(寺崎) 今日もまだ夏で7月ですね。私も今年が本当に集大成で個人的には最後の役員活動になりますので3月までに答えが出ればいいなあーぐらいの感じでね、あの発表するとかもないんですけども、ちょっと考えていけばなああと、後世に残せていけるような感じでね、貢献できることを考えていけばなあというふうに考えております。

(司会) ありがとうございます。田代会長お願いします。

(田代) 私も寺崎さんと同じで、何か答えを持ち合わせている訳ではないですが、この一年半関わらせて頂いていて確かにそのコロナの世の中になり、今日のこの場もそうですけども進んだことで、効率的にできることが、できる要素があることが分かったっていうのは一つの成果という風に捉えてもいいのかなと思います。

私たちの学校は冒頭にも申しましたように専攻科もあるということで、結構県下でも遠方から通学されている学生さんが多い高校でもあるというところでいくと、親御さんが土日や平日にPTAの活動にわざわざ遠くから来なきゃいけないということが、例えばオンラインで済む事なのであれば、時間の短縮や効率化って意味でもいいだろうと思うわけです。

さっき紹介しなかったのですが、総会も私たちは書面総会をしていて、資料についてはマチコミで流させて頂いたという対応をとらせていただいています。専攻科もありその予算決算の関係の特別会計というのがすごく多く、ページ数が何十ページにも及ぶ総会資料を毎年私たち本部役員が中心に印刷し、会員さん分を配付するということをしてきたものを、結果としてハイブリッドって言うのでしょうか、必要最低限のものは紙で配り、トータルのものはデジタルで配付するなんてことをさせていただくというようなことがあり、なんでもデジタルがいいわけでもなくてアナログの部分が、寺崎さんがおっしゃったように、必要な部分もあると、残すところが何で、整理するところが何かということを考えるのが今の時間なのかなっていう風には思っています。

私もまあ今年で息子が3年生なのでPTAも卒業するわけですけども、この3年間関わらせ

ていただいたことの蓄積を、後の人につないでいくということも残された時間の中での役割のひとつとしてあるのかなと思っていて、そんなことについてどんなことがやれるのかというのはこの残された時間で考えながら取り組めたらなというのが今の気持ちです。

(司会) ありがとうございます。小林先生に伺います。学校として PTA という存在があって、学校が PTA にこんなことをしてほしいとか、コロナ禍に限ってということでもないですが、コロナ禍があって PTA がいてありがたかったということもあると思いますが、その PTA の方たちにこんなことをお願いしたいということがあればお願いしたいのですが。

(小林) まず今日、井坂校長先生がいろいろな行事を実施しているという話がありました。つまりコロナと教育っていうのは、やはりコロナによって教育は止まってはいけないので中止するのは簡単なのですが、どうやったら実施できるかな、どうやったら学校教育が継続できるかなというのが私たちの最大の使命だと思っておりますし、そういう話でやっています。

その中でやはり PTA 活動が止まってしまうと、やっぱり学校もなかなか進まないという部分がありますので、その辺の両輪というところでは、色々な形でどうやったらできるのかということ、やはり一緒にご相談しながらやっていければ一番ありがたいところだと思います。

そしてオンライン授業と言いながらも、やっぱり対面で授業することもやっぱり大切さというのは、行事をやることで子どもが成長する、対面で学びをすることで子どもが成長する、やっぱりそういったところを、こういった活動を通して保護者の皆様にもご理解いただいて、今後の学校教育活動に是非是非引き続きご力をいただければありがたいと思っております。よろしくをお願いします。

(司会) コミュニケーションはやっぱり大事ですね。ちょっとコロナの話が続いてあの暗い感じになってしまったので、楽しさとか良かったことっていうのを中野さんから伝えていただければなと思います。

(中野) 先ほどからも出ていますが、楽しさの話の前に、本日の研修大会も例年のように会場での参加ですと各学校限られた人数 7、8 名しか参加してもらえなかったものがオンライン配信ですと人数制限なく参加してもらえます。コロナ以前本当にその発想はありませんでした。

ただ実際のボランティア活動は集まらないとやりづらいものが多いです。今後はハイブリッドになることは間違いないと思いますが、オンラインの便利さ、メリットはすごく実感しましたが、反面皆さんも度々口にされているように、その先のコミュニケーションを図るにはやはりオンラインだけでは難しいと気が付いて、画面越しでわからない本来の人とのつながりの素晴らしさを思い出してリアルが持つ力にはかなわないなという風にリアルの大切さを改めて感じるというのではないかと考えています。

改めてですが、子どもが選んで入った学校ですから保護者が学校に興味を持ってもらいたいなと思います。学校の様子ですとか子どもの様子を知るには PTA は本当にとっても都合が良い素晴らしい会です。しかもお子さんがいらっしゃる期間は限定ですね。3 年間はあつというまです。せっくなのでぜひ一人でも多くの方に関わって、繋がって、楽しんでもらいたいという思いになりました。ありがとうございました。

(司会) ありがとうございます。最後に会長から一言お願いします。

(米山) 先ほどアンケートの中でも触れましたが広報紙の活動が、全く止まることなくむしろ活発化したというようなところもありました。まさにこれは PTA の活動の目的である、子どもが通

う学校の様子を知ることができる。そして保護者自身として学ぶことができる。そういう生涯学習の機会でもあります。それから学校の学習環境の改善に協力すると、そういったところもあります。

そういった中でこういった皆さんがコロナ禍を通じて PTA の目的、活動の目的の原点に立ち返ったという話がいろんなところから聞こえて参ります。そのようなところで PTA を見つめ直していただいて、これからの活動を進めていただければというふうに思います。その中で、やはりそれを支える、可能にするのは、人と人との繋がりです。オンラインはあくまでそれをサポートするためのツールだというふうに考えます。

人と人とのつながり、これが生徒、保護者、学校の皆さんと地域と繋がって PTA の意味が出てくるのだろうという風に思います。

(司会) まだまだ話足りないところがありますが、お時間に限りがありましてそろそろ 1 時間となつてしまいました。ご登壇いただきましたパネリストの皆様ありがとうございます。皆さんのお話を伺って、改めてこうして会ってお話ができるということのありがたさをすごく今感じています。

是非、今日聞いた話を学校で、家庭でお子様とお友達とちょっと話題にさせていただいて、つながりを感じていただけたら嬉しいなと思っております。

是非ご感想などをアンケートからもお寄せいただけるとこちらも参考になりますので宜しくお願い致します。

改めましてご登壇いただきましたパネリストの皆様本日はありがとうございました。これでパネルディスカッションを終了いたします。ありがとうございました。